

# 音 楽 科

## 音楽科研究主題

学んだことの意味や価値を実感し、音楽と豊かに関わる生徒の育成

公開授業 学級：3年3組 授業者：嶋 航希

## 題材名：合唱表現の追求とは？

(教材名：『大地讃頌』『手紙～拝啓 十五の君へ～』)

### 授業の見どころ① 当事者意識をもって合唱表現を追求する

多くの学校で行われる合唱コンクール。自信をもって大きな声で歌えるようになるまで何度も何度も繰り返す、そんな授業になっていませんか？ 教師主導で表現を強制していませんか？ そんな活動に嫌気がさしている生徒はいませんか？

どんな合唱表現を創りたいか、そのために今の自分たちには何が足りないか・・・本番直前までハングリー精神をもって合唱表現を追求しようとする生徒を育てたいものです。生徒同士の対話や教師との対話、題材全体の中で計画的に施した仕掛けによって、1人1人の内なる思いを引き出し、みんなでより良い合唱を目指していきます。2週間後の本番に向けて、みんなで表現を磨いていく様子をぜひご覧ください。

### 授業の見どころ② 具体的な視点で自分たちの合唱を批評する

「やさしく」「力強く」歌いたい・・・表現を語る言葉が曖昧になっていませんか？ それでは自分の思いを相手や学級の人々に分かりやすく伝えることはできません。そこで、「4つのキーワード」を示して、生徒が具体的に音楽を語るができるように支援します。

### 授業の見どころ③ 学んだことの意味や価値を実感できる授業

楽曲を中心に授業が行われることが多い音楽科ですが、「何のためにその曲を学習したか」言える生徒はどのくらいいるのでしょうか・・・。学んだことの意味や価値を実感するためには、題材を通して身に付いた「普遍的な（他の曲でも使える）」見方・考え方、音楽の技能を生徒自身が自覚できる授業をする必要があると考えました。研究会では今年度実践した5つの題材と具体的な手立てを紹介します。また、音楽室に生徒の学習の成果物を掲示します。日々の授業のヒントになればと思います。